

年頭のご挨拶～昨年1年間の感謝をこめて

2015年1月1日

青少年自立支援センター ビバの会 ビバハウス

安達 俊子 尚男

明けましておめでとうございます。

今年こそ心からおめでとうといえる年の実現を目指し、ともに力を合わせましょう。本年もどうぞよろしく願いいたします。

お陰様で私たちも、昨一年の活動を12月22日に終了し、新年12日までの冬休みに入らせて頂いています。

これもひとえに、常に変わらぬご支援を下さいました皆様のお陰です。本当にありがとうございました。心よりの感謝を申し上げます。

何とか俊子の体調も、まだまだ万全ではありませんが、徐々に回復し、本拠の登町のビバハウスで、事業を一本化して励んで参りました。尚男は左腎臓の摘出手術も成功し、昨年10月の再検査でも、「転移皆無、全身堅調」との診断を受け喜んでいましたが、昨年秋胆嚢炎を患い、胆嚢摘出手術を同じ病院で受けましたが、現在は万全です。ご心配を頂きました皆様に御礼申し上げます。

私たちの本年の重点課題は三つあります。

- 1) 本年は創設15週年に当たります。実践の内容を広く社会に発信することこそが、ビバハウスの社会的使命と確信し、「ひきこもりの若者と生きる」第2巻の発行にいよいよ取り掛かりたいと思います。
- 2) ビバ創設期に住み込みでボランティアをしてくださった山下厚二さんが創って下さった「ビバハウス HP」は今日現在アクセス数103,717件を超えました。今年からは、写真なども適時に取り入れ、いっそうビバの様子をお分かり頂けるようにしたいと思っています。
- 3) 「年寄り・若者元気村」構想実現の第一歩として、昨年確定した、NPO農業塾「風のがっこう」(札幌・長谷川豊代表・元酪農学園大学教授)との共同事業に着手します。昨年プレゼントして頂いた約100坪のビニールハウスを活用し、「ビバ農業実践塾」として、若者および定年退職者の皆さんの共同で農作業を行います。当面は関係者の必要とする家庭用野菜を生産し、希望する方には定期購入者になって頂けます。